

2016年度(平成28年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(5)番 福山市立 川 口 小学校

1 授業の現状

児童が、個人思考場面で理由を持って自分の考えを書いたり、ペアトーク場面で相手に理解を促すように話したりする型が見え始めている。しかし、まだ主体的・双方向的な交流になっていないので、思考を深め合えていない。

転換

2 めざす授業の姿

自分の考えを、理由を明確にして書き、伝え合う授業

3 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<p>① 授業の個人思考場面で、[自分の考え]を理由を付けて書かせる場面を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1回3分以上確保する。 ・ノートの使い方を指導し、理由を付けて書くよう声掛けをする。 <p>② ペアトークで理由を明確にして[自分の考え]を伝えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ペアトークの達人」を活用し、発問の内容にあわせた聞き方や質問などの視点を示す。 ・帯タイムや教科等外の時間を計画的に実施し、言語技術を鍛える。 	<p>① [自分の考え]を書かせる場面を1日1回3分以上確保した教員は94%となった。</p> <p>理由をつけて書くよう声掛けを行っている教員が94%となり、理由を付けて書くことができると答える児童が81.6%となった。</p> <p>△ノートの効果的な活用方法について、検討する必要がある。</p> <p>② ペアトークで、発問の内容に合わせた視点を示す教員が71%となった。</p> <p>△「ペアトークの達人」の各レベルでのイメージを、教員間で共通認識しにくく、ペアトークの質を向上しきれていない。</p>	<p>① 授業の個人思考場面で、[自分の考え]を理由を付けて書かせる場面を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1回3分以上確保する。 ・ノートコンテストの表彰の仕方を工夫し、全校で「よいノート像」の共通認識を、さらに高める。 <p>② ペアトークの質的レベルアップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「川口小学校交流の10の観点」を共有し、意図を持ったペアトークを行う。 ・帯タイム・教科等外の時間では、より言語技術を鍛えるために内容を再編成し、実施する。 	<p>① [自分の考え]を書かせる場面を1日1回3分以上確保した教員は94.1%、理由を付けて書くことができると答える児童は90.1%となった。</p> <p>ノートコンテストの表彰により、全校で「よいノート像」の共通認識を高め、児童の意欲も高まった。</p> <p>△児童が主体的に[自分の考え]を書きたいと思う場面を設定できているかどうかを検討する必要がある。</p> <p>② ペアトークで発問の内容に合わせた視点を示す教員が100%となった。</p> <p>△ペアトークを思考を深めるための手立てとして、有効に活用できているかどうかを検討する必要がある。</p>	<p>① 授業の個人思考場面で、[自分の考え]を理由を付けて書かせる場面を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日1回3分以上確保する。 ・児童が「考えたい」「書きたい」と思える学習課題・発問を工夫する。 <p>② 「やってよかった」ペアトークを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「川口小学校交流の10の観点」に基づいた意図を持ち、児童が「伝えたい」と思えるような、答えが多様にあり、交流の必然性が生まれる発問を工夫する。 ・ペアトークによる思考の深まりを振り返らせたり価値付けたりして、児童に実感させる。 	<p>① [自分の考え]を書かせる場面を1日1回3分以上確保した教員は94%、理由を付けて書くことができると答える児童は91.3%となった。</p> <p>児童が「考えたい」「書きたい」と思えるような学習課題・発問を工夫した頻度は、1日1回以上が47.1%、週に1回以上が41.2%となった。</p> <p>△児童が「考えたい」「書きたい」と思う学習課題や発問はどのようなものかを共有化し、取組目標の指標も明確にする必要がある。</p> <p>② ペアトークで、自分の考えを理由を付けて伝える児童は94%、ペアトークを「やってよかった」と感じる児童は85.6%となった。</p> <p>△児童が「伝えたい」と思えるような発問をどのように位置づけていくか、検討していく必要がある。</p>

4 取組の結果

数値は2016年(H28年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	A 問題	B 問題
国語	77.8(-0.6)	57.8(-2.7)
算数	77.1(-2.6)	51.2(+1.7)

	タイプ I	タイプ II
国語	73.1(+5.1)	46.8(+10.1)
算数	80.0(+5.1)	57.1(+5.1)
理科	73.1(+5.0)	50.2(+3.5)

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(児童質問紙調査)(%)

内 容	国語		算数		理科	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	72.6	21.4	75.0	19.0	76.2	14.3
学校が楽しい	94.0					

暴力行為発生・不登校児童出現率(%)

(2)月末現在

暴力行為	0.71	不登校	0.89
------	------	-----	------

体力・運動能力調査 (網掛は県平均以上)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	2m×20m×7	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	2m×20m×7	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ
1年	11.69	15.96	33.53	28.87	24.2	11.77	121.98	9.61	1年	10.6	14.73	34.19	26.46	20.8	12.02	105.77	5.96
2年	13.3	15.48	29.98	25.67	22.05	11.26	112.95	10.79	2年	12.63	15.44	33.8	28.13	23.18	11.05	112.25	8.03
3年	14.28	18.2	34.6	38.33	45.38	10.13	139.69	16.6	3年	14.66	19.89	39.32	37.72	38.13	10.17	132.05	12.42
4年	21.02	24.85	33.22	40.73	48.46	9.69	148.15	21.64	4年	17.52	21.31	34.73	38.81	42.52	9.93	133.35	13.88
5年	22.39	23.71	37.77	42.36	56.63	9.11	153	23.77	5年	20.67	21.79	42.39	42.11	49.11	9.13	149.5	17.15
6年	24.66	31.39	44.73	50.84	68.21	8.65	172.44	30.69	6年	24.53	26.89	49.71	45.06	55.79	8.99	152.54	19.89

小中一貫教育に係るアンケート[対象:授業者](%)

(3)月実施

内 容	よく当てはまる	当てはまる
仕事に意義とやりがいを感じている	21.7	34.8
日々の仕事に充実感がある	4.3	34.8